2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	臨床工学技士科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床医学総論Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	山村　光弘	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

内容:外科学総論(第1回から第15回)および外科学各論(第16回から第30回)
目標:将来臨床工学技士の仕事をするに必要な外科知識、とくに心臓血管外科領域の知識を修得する。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　　70%　(注意事項別途指示)
2. 小テスト・レポート:　0%
3. 授業態度・出席:　30%　(出席不良時は試験受験できなくなるので注意下さい)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

標準外科学, 心臓病へのアプローチ, 術後ケアとドレーン管理のすべて

《授業外における学習方法》

各自ノートを用意し必要事項は自分の手でメモする。次回授業までに復習することがが大切である。

《履修に当たっての留意点》

学問に王道なし！　諸君が将来飯の糧とする、外科学とくに心臓血管外科学を、丸暗記ではなく「なぜそうなるのか？(病態)」を中心に解説講義するので、しっかり授業についてきて欲しい。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外科の歴史について説明できる。	PowerPointによる講義と DVDビデオ提示で授業進行する。	なし
		各コマにおける授業予定	外科の歴史　1		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外科の歴史について説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	外科の歴史　2		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心臓血管外科の歴史について説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	心臓血管外科の歴史　1		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心臓血管外科の歴史について説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	心臓血管外科の歴史　2		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	移植学について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	移植学　1		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	移植学について説明できる。	PowerPointによる講義とDVDビデオ提示で授業進行する。	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	移植学　2		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人工臓器について説明できる。	同上	
		各コマにおける授業予定	人工臓器　1		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人工臓器について説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	人工臓器　2		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心肺蘇生について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	心肺蘇生		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外科基本手技について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	外科基本手技講義		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ショックについて説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	ショック		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	周術期管理について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	周術期管理		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外科感染について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	外科感染		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腫瘍について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	腫瘍		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	人工心肺トラブルについて説明できる	同上	なし
		各コマにおける授業予定	医療安全		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床医学総論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	山村　光弘	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

内容:外科学総論(第1回から第15回)および外科学各論(第16回から第30回)
目標:将来臨床工学技士の仕事をするに必要な外科知識、とくに心臓血管外科領域の知識を修得する。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　　70%　(注意事項別途指示)
2. 小テスト・レポート:　0%
3. 授業態度・出席:　30%　(出席不良時は試験受験できなくなるので注意下さい)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

標準外科学, 心臓病へのアプローチ, 術後ケアとドレーン管理のすべて

《授業外における学習方法》

各自ノートを用意し必要事項は自分の手でメモする。次回授業までに復習することがが大切である。

《履修に当たっての留意点》

学問に王道なし！　諸君が将来飯の糧とする、外科学とくに心臓血管外科学を、丸暗記ではなく「なぜそうなるのか？(病態)」を中心に解説講義するので、しっかり授業についてきて欲しい。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	小児心臓外科と人工心肺について説明できる。	PowerPointによる講義と手術DVDビデオ提示で授業進行する。	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	小児心臓外科　1		
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	小児心臓外科と人工心肺について説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	小児心臓外科　2		
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	冠動脈外科と人工心肺について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	冠動脈外科　1		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	冠動脈外科と人工心肺について説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	冠動脈外科　2		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	弁膜症外科と人工心肺について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	弁膜症外科　1		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	弁膜症外科と人工心肺について説明できる。	PowerPointによる講義と手術DVDビデオ提示で授業進行する。	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	弁膜症外科　2		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	大血管外科と人工心肺について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	大血管外科　1		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	大血管外科と人工心肺について説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	大血管外科　2		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	末梢血管外科と人工心肺について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	末梢血管外科　1		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	末梢血管外科と人工心肺について説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	末梢血管外科　2		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器外科について説明できる。	PowerPointによる講義で授業進行する。	なし
		各コマにおける授業予定	呼吸器外科　1		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器外科について説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	呼吸器外科　2		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	消化器外科について説明できる。	同上	なし
		各コマにおける授業予定	消化器外科　1		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	消化器外科について説明できる。	同上	前回授業内容復習
		各コマにおける授業予定	消化器外科　2		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	肝臓外科について説明できる	同上	なし
		各コマにおける授業予定	肝臓外科		